

< もくじ >	
1. 巻頭言：人は始めることを忘れなければいつまでも若い	1
2. 2025年度連続講座開催のお知らせ（再々掲）	2
3. 研究会からのお知らせ	2
4. 各研究会の概要報告	3
5. 事務局からのお知らせとお願い	5

1. 巻頭言：人は始めることを忘れなければいつまでも若い

地球環境問題は、どの国どの民族という個別の地域それぞれの利害関係を越え、80億の人類の現在と未来にかかわりがある。この環境問題の創造的な克服を目指すSDGs（持続可能な開発目標）は2015年の国連総会で全加盟国の賛成をえて制定された。シニア社会学会メンバーがSDGsの構想に賛同し、一生活者として挑戦していることは、「人は始めることを忘れなければいつまでも若い」（マルチン・ブーバー）ということばを日常的に受け止め、実践しているということだ。



近所の書店で、ポスト・コロナの道しるべと書かれた新書の帯の惹句にひかれて、蟹江憲史『SDGs・持続可能な開発目標』（中公新書）を購入し、私にもできそうな事項を探すと、老若についてのエイジング言説はSDGsの立派な問題群のひとつと承知した。

真面目に検討しているうちに手元が狂い、パンドラの箱のふたを開けてしまった。市長職と大学卒業証書（実は私はこの話題の人物が市長をしている自治体に住所がある）の一件を含め、出てくるは出てくるは、簡単に結末に至らない不思議なやり取りが行われている。しかしこれこそが世間というものなのだろう。事柄の展開が“売り手よし、買い手よし、世間よし”の“三方よし”で民意を取りまとめ、その着地点を上手に始末しうるかどうかは見ものである。

NHKの朝ドラ「あんぱん」は、戦前昭和の時代相と重なっているのに、興味津々で見ているが、時代を若干体験している者としては戦中戦後のざらざら感が薄い感がある。

それは戦前昭和の20年間の幾多の困苦の積み重ねから見えてくる実態はパンドラの箱の中に「悪」の符牒が付けられ収められている。ゆえに、大正デモクラシーで知りえた歴史的経験はパンドラの箱の底に残っていて、希望の符牒が付けられているはずだ。この国民的経験は希望の乏しい1945年以前の生活体験との対比で、1945年以降につながる国民的な希望の例証として有意に語ることができる。ゆえに「あんぱん」はうまいのだ。

一般社団法人シニア社会学会

副会長 濱口晴彦

2. 2025年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵 Part4」開催のお知らせ (再々掲)

人生100年時代が現実のものとなったとはいえ、いつまでも元気で活動し続けることは困難です。歳を重ねれば心身機能が低下し、人生の最終段階には他者の助けが必要になり、その後に訪れる死への準備も欠かせません。親、きょうだい、配偶者、そしてあなた自身の人生の最終段階を悔いのないものにするうえで、この講座がお役に立てることを願っております。

《講演内容・日程（開催時間は、全て14:00～16:00）》

◆第1回 9月27日（土） 袖井 孝子（シニア社会学会会長 東京家政学院大学特別招聘教授）
テーマ：「終活のすすめ～悔いのない人生の締めくくりに～」

◆第2回 10月18日（土） 谷口 佳充（三井住友信託銀行 人生100年応援部特別理事
法制審議会民法〈遺言関係〉部会委員）
テーマ：「超高齢社会のお力ネと相続/死後事務～Advance Life Planning のススメ～」

◆第3回 11月8日（土） 中村 昌子（シニア社会学会理事 グリーフカウンセラー
上智大学グリーフケア研究所認定臨床聴士）
テーマ：「グリーフケアとグリーフワークの基礎知識」

※ オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

□主 催：一般社団法人シニア社会学会・東京家政学院大学共催

□会 場：東京家政学院大学三番町キャンパス1602教室、Zoom 併用によるハイブリッド開催

□参加費：会員・非会員：各回1,000円（学生：無料）

□申込方法：

①Peatix で申し込まれる場合（会場参加・オンライン参加）

<https://renzokukouza.peatix.com/>

②Eメールで申し込まれる場合

シニア社会学会Eメール（jaas@circus.ocn.ne.jp）へ以下の事項を記載し、お申込み下さい。

- ・お名前
- ・参加区分（会員／非会員／学生【大学名と学部を明記】）
- ・参加講座（第一回／第二回／第三回）
- ・参加方法（会場参加／オンライン）オンライン参加の方は事前に参加費をお振込みください。

※ 詳細については同報のチラシをご覧ください。

3. 研究会からのお知らせ

（1）第109回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ（再掲）

- 1) 日 時：2025年9月18日（木） 15:00～18:00
- 2) 会 場：早稲田大学 国際会議場4階第6共同研究室
- 3) テーマ：コミュニティ発達の鍵となる社会関係資本の蓄積と活性化
- 4) 参加費：300円

※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

（2）第65回「ライフプロデュース」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2025年9月24日（水） 17:30～19:30 Zoom 開催
- 2) テーマ：読書会：久坂部羊（くさかべよう）「人はどう死ぬのか」（2022年3月）、

「人はどう老いるのか」(2023年10月)(講談社現代新書)

担当: 柴本淑子 当学会理事

久坂部羊(くさべよう): 1955年大阪生まれ。医師としての経験を生かし、医療小説や評論で、医療や死生観を鋭く描き出す。現実の医療の光りと影を、ユーモアと社会批評の眼差しを交えつつ表現し続けている。

※ ご連絡ご質問は、中村昌子(nakamurayoshiko6@gmail.com)までお願いします。

(3) 第173回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時: 2025年9月24日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者: 小賀野晶一 千葉大学名誉教授
- 3) テーマ: 「認知症の人の意思決定——寛容の民法論からのアプローチ」
- 4) オンラインで開催いたします。

※ 参加を希望される方は、阿部(fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp)にご連絡ください。
資料をお送りいたします。

※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

(4) 第60回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

- 1) 日 時: 2025年9月27日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所: 品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者: YNS やまぶき任意後見、アワーズ、シニア学会員
- 4) テーマ: 人形劇その他

劇団 ^{びしょうざ}「B笑座」

認知症を可視化し、人形劇、寸劇などを行います。劇団員募集しています。

※ お問い合わせは、鈴木 眞澄(mme_masumi@yahoo.co.jp)までお願い致します。

(5) 第61回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時: 2025年10月8日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所: Zoom 開催
- 3) 報告者: 全員で検討
- 4) 概 要: 「高齢者を狙ったサーバー犯罪について意見交換」つづき

※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 moriyasu@ied.co.jp までご連絡ください。

4. 各研究会の概要報告

(1) 第59回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時: 2025年8月23日(土) 18:30~20:30
- 2) 場 所: 品川区東大井5-18-1 きゅりあん 第二グループ活動室
- 3) 発表者: 鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ: 人形劇、その他

(鈴木眞澄 記)

(2) 第60回「社会情報」研究会の報告

- 1) 日 時: 2025年8月27日(水) 15:00~17:00
- 2) 場 所: Zoom 開催
- 3) 報告者: 全員で検討
- 4) テーマ: 「収集した事例をもとに高齢者を狙ったサーバー犯罪について意見交換」
- 5) 概 要: 事前配布の資料3点を基に議論

【議論の要点】

・アポ電もかかってきて、個人情報聞き出そうとする。番号表示機能を利用するなどの対策。民

生委員も心配している。

- ・住まいのある区では、留守電と番号表示機能をつけるための補助をしている。防犯メールを受信するなどの対策もある。
- ・セキュリティソフトを入れるなど対策もしたほうがいい。騙す側は、慌てさせることが手口。

【総括】

- ・高齢者も少しずつネット犯罪の例を知っていけば役に立つのではないかな。皆が気を付けるような、身近な防犯意識の啓発機会が必要なのではないかな。
- ・地方公共団体発信の「防犯メール」の受信も効果があるのではないかな。

(森やす子 記)

(3) 第172回「社会保障」研究会報告要旨

- 1) 日 時：2025年8月27日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：石田路子(NPO 法人高齢社会をよくする女性の会副理事長)
- 3) テーマ「2024年6月実施 介護保険サービス利用者実態調査の報告」
- 4) 参加人数：16名

介護保険制度が始まって四半世紀余りが経過した今、繰り返される制度改定によって、給付が削減される一方で、利用者の負担は増加している。そもそも、制度の基本理念は『自立支援』と『利用者本位』。「介護が必要になっても、出来るだけ自分の力で生活を維持していくことができる」ことを目的とし、「そのための多様なサービスは自身の意向で選択できる」はずだった。

しかし、繰り返される給付抑制と利用者負担増によって、今やその基本理念が危うくなっているという懸念から、介護保険サービスの利用者が、現在のサービス利用に際して、どのような思いを抱き、何を求めているのかを探る必要があると考え、「介護保険サービス利用者実態調査」を実施した。

介護保険事業者を対象とした調査は定期的に行われており、利用者側の状況や意見を聞く調査も少なからずあるが、回答しているのが利用者家族の場合も多く、対象を利用者のみに限った調査は、それほど多くない。

今回、NPO 法人高齢社会をよくする女性の会の会員をはじめ、そこからつながった様々な人たちの協力により、770 票の回答を得ることができた。介護保険を利用している本人の声が、これだけ多く集まったことで、実際の介護保険サービスの在り方について、利用者目線から知ることができる貴重な資料になると自負している。

この調査結果を踏まえた総括に基づき、NPO 法人高齢社会をよくする女性の会が 2025 年 2 月に厚生労働大臣へ提出した 3 つの要望は以下の通り。

- ①在宅サービスが安定的に確保されるよう、介護人材への待遇と評価のアップを
- ②介護保険料やサービス利用料の自己負担が高齢者の生活を脅かさないように
- ③要支援1・2を対象とした総合事業は、しっかり効果検証を

(石田路子 記)

(4) 第78回「災害と地域社会」研究会の報告

- 1) 日 時：2025年 8月27日(水) 18:00~20:00
- 2) 報告者：浅川達人(地域社会と危機管理研究所所長)
- 3) タイトル：「能登半島巡検の振り返り」
- 4) 場 所：早稲田大学早稲田キャンパス3号館604強室

「地域社会と危機管理研究所」では、令和6年能登半島地震およびその後の豪雨災害で被災した地域を訪問し、現在の復興の状況を知り、今後の復興活動に何が必要であるかを考えるために、巡検を行った。

期日：2025年7月5(土)、6日(日)、7日(月)

行程：

【7月5日】午前 珠洲市中心部、道の駅すすなり(旧珠洲駅)、珠洲飯田港あと(地盤沈下)見

附島など見学。午後 能登町へ移動、あばれ祭り見学。

【7月6日】午前 志賀町、富来の集落などの被害状況を見学、道の駅富来を視察、黒島漁港（地盤沈下）・黒島重伝建見学、禅の里交流館及び總持寺祖院見学、門前町中心部見学。午後 浦上公民館で災害当時の対応聞き取り、集落見学、大沢集落（間垣の里）にて田中旅館で被災状況聞き取り、大沢集落見学

【7月7日】午前 能登町定住促進協議会で被災後の活動について聞き取り。午後 輪島市内にて、火事現場、道の駅わじま等見学、能登里山空港にて解散。

巡検を行った地域の関連資料と記録については次のサイトに詳細を掲載している。「地域社会と危機管理研究所」のホームページのTop News のいちばん上の項目の「令和7年能登半島地震災害巡検報告を公開しました」のページのこちらからをクリックするとアクセスできる。

（松村治 記）

5. 事務局からのお知らせとお願い

◆さわやか福祉財団「いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025」開催のお知らせ （再掲）

誰もがいきいきと地域とつながりながら暮らしていくために、どう取り組めばよいのか。全国各地で実践を重ねている地域づくり関係者の皆様に支援するため「いきがい・助け合いオンラインフェスタ」を開催します。テーマは、生活支援コーディネーターと協議体の取り組みや共生型居場所、有償ボランティアの進め方から企業との連携まで、各分野の具体事例をもとに、住民が主体的に参加する地域共生社会の実現に向けた多様なアプローチをご紹介します。

■主なテーマ（現段階の予定）

- ・オープニングフォーラム：「みんなの参加で地域共生社会を実現しよう」
- ・特別トーク：各分野の代表者による特別講演
- ・学ぼう編：8テーマ
- ・語ろう編（ライブ配信）：3テーマ

■開催概要

- ・開催期間：2025年10月14日（火）～10月23日（木）
※ 11月30日（日）までライブ配信を除くすべてのプログラムがアーカイブ配信で視聴可能
- ・開催方法：完全オンライン配信形式
- ・申込期間：2025年8月14日（木）～10月23日（木） ※予定
- ・参加費：1,000円（税込）
※ 参加費と同額を当財団の「地域助け合い基金」に拠出して、地域活動を応援します。
※ 後日希望者にダイジェスト資料を送付予定
- ・主 催：さわやか福祉財団（シニア社会学会後援）

■問い合わせ先

いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025事務局 メール：festa@sawayakazaidan.or.jp
特設URL <https://festa.sawayakazaidan.or.jp/>

<会員情報変更時のご連絡のお願い>

事務所移転後は、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・メールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あて連絡は、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせください。

＜2025年10月 JAAS News の発行日＞

次回 JAAS News 第314号の発行日は、2025年10月15日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、10月10日（金）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

JAAS News 編集長 松島悦子

一般社団法人 シニア社会学会・事務局
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア1037
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/